

ここ3年間の新知見を盛り込み、全体にわたって内容を改訂

膠原病学

改訂6版

免疫学・リウマチ性疾患の理解のために

塩沢俊一 著

(九州大学病院共同研究部門リウマチ膠原病内科特任教授／神戸大学名誉教授)

B5判・672頁 定価（本体15,000円+税）

ISBN978-4-621-08945-3

難病指定されている「膠原病（リウマチ）」は、臨床と研究の双方を同時進行で推進していかなければならぬ重要な分野です。本書の1版～改訂5版は、免疫学と臨床免疫学を対等に見据えた新しい時代の専門書・教科書としてこの分野の研究者の間では定評を得てきました。

「改訂6版」では、生物学的製剤が関節リウマチのほかこれまで治療が困難であった多くの疾患に治癒の可能性を拓いた新しい時代に対応して、新たな診療ガイドラインに沿って関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、血管炎、ベーチェット病、炎症性脊椎疾患等の内容を一新し、治療を最新のものに書き換えました。また、いわゆる自己免疫疾患の枠組みが自己炎症症候群の台頭によって揺らぐ中、筆者らのSLEの発症病因自己臨界点説などの証拠を踏まえて、疾患の抗原誘導性発症機構の視点から、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、線維筋痛症、乾癬性関節炎等の発症病因を整理して述べています。

丸善出版

- 広範囲にわたる免疫学の知識を実用上必要なものに限ることで臨床医やその他の分野の研究者・学生にも使いやすい内容構成
- 臨床膠原病学についてこれまで経験的にしか語られなかつた臨床的事項に対してもできる限り理論づけが行われている
- 著者が膠原病学分野において世界的にも著名であること（臨床経験も最多例数を誇る）

目 次

第I部 免疫システムへのアプローチ

第1章 免疫システムの概要／第2章 免疫異常の検出方法

第II部 免疫系の細胞と臓器

第3章 抗体とB細胞／第4章 T細胞／第5章 抗原提示／第6章 第一線の非特異的生体防御／

第7章 免疫系の発生と免疫系を構成する臓器

第III部 免疫応答を調節する分子

第8章 補体、低分子生理活性物質／第9章 サイトカイン／第10章 接着分子

第IV部 生体防御応答の正常と異常

第11章 感染に対する生体防御応答／第12章 免疫不全症

第V部 膠原病へのアプローチ

第13章 膠原病の概念と病因／第14章 膠原病の診察の仕方／第15章 膠原病の症状と徴候／第16章 膠原病の検査／

第17章 画像診断／第18章 関節の構造と機能

第VI部 臨床薬理学

第19章 膠原病の治療

第VII部 膠原病の臨床

第20章 慢性関節リウマチ／第21章 全身性エリテマトーデス／第22章 混合性結合織病／第23章 強皮症／

第24章 多発性筋炎・皮膚筋炎／第25章 全身性血管炎／第26章 シェーグレン症候群／第27章 リン脂質抗体症候群／

第28章 ベーチェット病／第29章 痛風／第30章 若年性リウマチ、成人スチル病、感染性関節炎（ライム病など）／

第31章 多発性筋痛症／第32章 炎症性脊椎疾患／第33章 乾癬性関節炎／第34章 サルコイドーシス／第35章 掌蹠膿疱症／

第36章 再発性軟骨炎／第37章 好酸球性筋膜炎／第38章 Fibromyalgia／第39章 症候群など／第40章 アレルギーと疾患

第VIII部 全身からみた膠原病

第41章 血液系疾患と関節炎／第42章 皮膚と膠原病／第43章 肺と膠原病／第44章 眼と膠原病／第45章 肝胆道系と膠原病／

第46章 神經・内分泌と膠原病／第47章 代謝性疾患と膠原病／第48章 骨・結合織疾患／第49章 腎と膠原病

第IX部 新しい治療および膠原病の社会的・人間的側面

第50章 膠原病の新しい治療／第51章 膠原病の社会的側面／第52章 膠原病患者の主治医になるということ

[付録1] 関節可動域の測定法 [付録2] CD分類表 [付録3] インターロイキンの種類

丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階 書籍営業部 TEL(03)3512-3256 FAX(03)3512-3270
<http://pub.maruzen.co.jp/>

丸善出版発行 FAX 03-3512-3270

取扱店

注

膠原病学 改訂6版 免疫学・リウマチ性疾患の理解のために

定価（本体15,000円+税）ISBN978-4-621-08945-3

冊

お名前

ご住所 〒

TEL

※ご注文をいただいた個人情報は、書店、取次（流通）・弊社間での商品手配の目的に利用させていただきます。